



# 学校だより

令和5年9月29日

横浜市立南小学校

校長 薄田 秀明

## 「感動と学校行事は子どもたちの成長の機会」

がっこうちょう うすだ ひであき  
学校長 薄田 秀明

まもなく前期が終了し、学校にとっては1年間の半分が終了することとなります。今年度は緩和されたとはいえ引き続き、新型コロナウイルス感染症対策をしながら教育活動をすすめています。子どもたちが積極的に学習に取り組む中に水泳学習がありました。昨年度までは全学年で実施していなかったのですが、子どもの学習履歴がばらばらでしたが、今年度は全校実施いたしました。それでも学年相応の学習ではなく、2~3学年前の学習からのスタートでした。子どもたちは水泳学習を楽しみ、水の中で今まで味わったことのない感覚や泳ぎを習得していきました。ぜひ、来年度につなげていきたいと思えます。

教育活動で一番影響を受けたのは、宿泊行事をはじめとする学校行事でした。学校行事は普段の授業では味わうことのできない感動や体験の場となります。それは子どもたち一人ひとりの成長の機会となり、学級や学年、そして学校の集団を育成する場にもなります。宿泊行事の実現にあたっては、下見から計画、運営と多くの時間を割いてきた当該学年の職員をはじめ、出発や到着時に多くの職員が関わりました。そして、保護者の皆様のご理解なしでは実現が難しかったと思えます。多くの支えがあつての宿泊行事でした。

10月には運動会があり、それに向けて子どもたちは練習を始めています。宿泊行事も運動会も当日だけでなく、それまでの活動過程があり、成長も見られて感動するのだと思えます。

感動には、喜び、うれしさ、かなしみ、哀れみ、共感、同情、驚き、尊敬、達成感、素晴らしさなどが含まれていて、これらの感情が複数絡まりあいながら、人の心を動かす強い感情となっています。人はなぜ感動をもとめ、感動に動かされるのでしょうか。

心理学では感動体験の効用を

- ① やる気やポジティブ思考、自立性・自主性を奮い起こすきっかけとなる。
- ② 思考転換・視野拡大・興味拡大などによる新しい考え方・価値観獲得のきっかけとなる。
- ③ 他者からの愛や慈悲をきっかけに人間愛や寛容、利他意識に目覚める。

としています。

私の身近なところでは、夏の高校野球、バスケットボールやラグビーフットボールワールドカップの選手の活躍場面を観たり、選手一人にフォーカスした番組を観たりすると感動し、胸が高鳴ります。ときには、涙を流すこともあります。日常生活において、感動の涙はストレスを緩和し、涙の後の安堵感、すっきり感があるのを皆様も経験したことがあると思えます。このように、感動そして、感動の結果から生じる涙には思考の悪循環やネガティブ思考の転換効果及びストレス低減や精神的癒し効果があると考えられているそうです。

学校行事や日常生活で多くの感動を子どもたちに味わってほしいと思っています。学校行事は、運動会、遠足などまだまだ続きます。子どもたちが各行事でどんな成長の姿を見せてくれるかとても楽しみです。

引き続き、ご協力をお願いいたします。